

令和6年度  
第2回フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト戦略検討委員会  
～令和6年度におけるプロジェクトの進捗状況～

令和7年2月13日(木)10:00～12:00

フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画の概要 R2～6年度

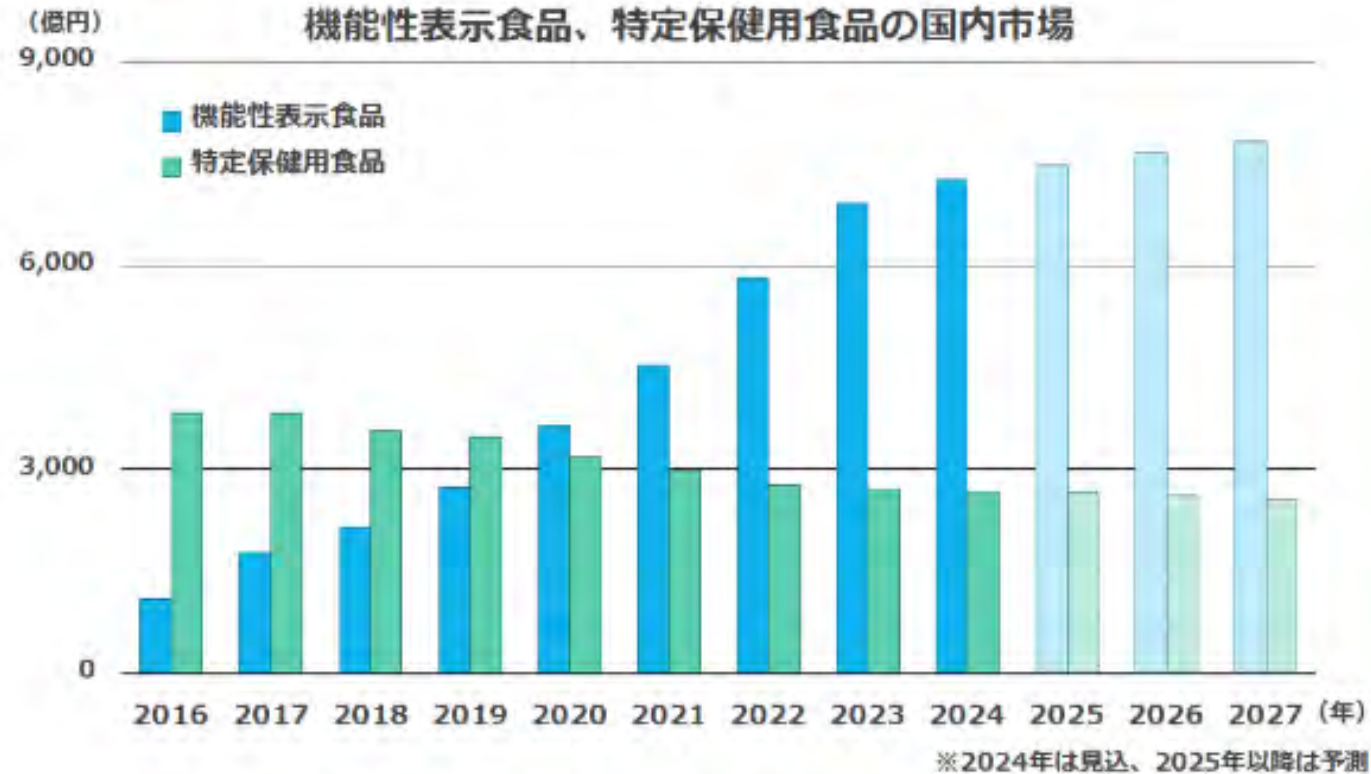


# 機能的食品開発プラットフォーム

機能的表示食品の開発を、相談から科学的根拠の証明、消費者庁への届出まで一貫支援する体制を全国に先駆けて整備

- 静岡県内企業による届出件数 323件 【全国4位】
- プラットフォームによる支援件数 58社111品目
- 製造品目数 2,613件（全体の38.6%） 【全国第1位】

# 機能的表示食品、特定保健用食品の国内市場



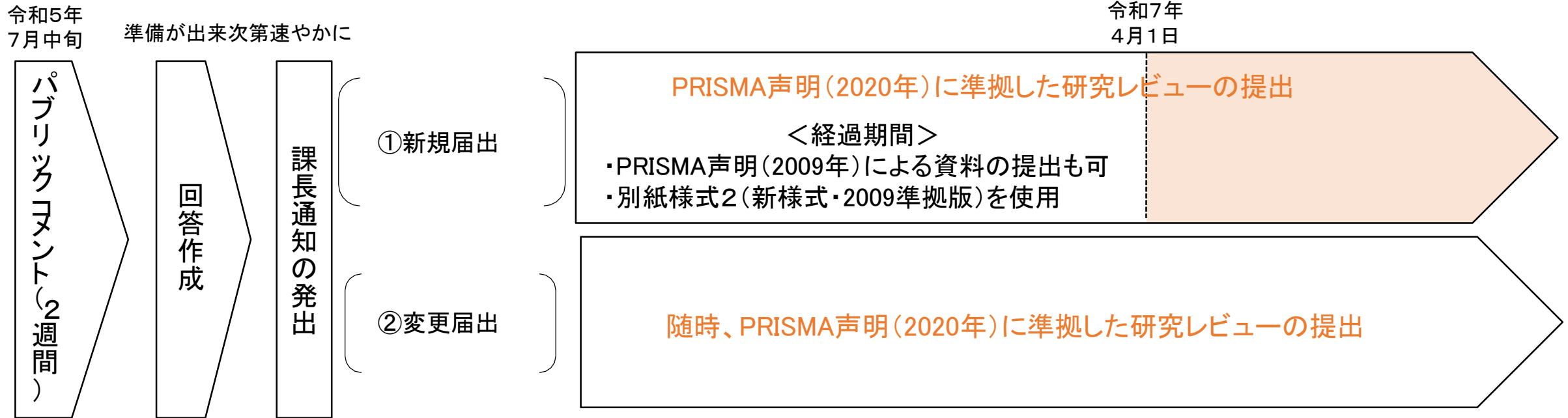
富士経済「H・Bフーズマーケティング便覧 2025 No.3 機能的表示別市場分析編」

富士経済の調べに基づく機能的表示食品及び特定保健食品の国内市場規模推移。  
同社のプレスリリースから

## 2. 施行期日（経過措置）

(1) 1. 主な改正内容の(1)(システマティックレビューのPRISMA声明(2020年)への準拠)については、対応に一定の準備期間が必要となることから、経過期間を設ける。

- ①新規届出については、令和7年4月1日届出以降、PRISMA声明(2020年)に準拠することとし、届出の際は別紙様式2(新様式・2020準拠版)を用いること。なお、それまでの間はPRISMA声明(2009年)に準拠して届出しても差し支えないが、その場合は、別紙様式2(新様式・2009準拠版)を用いること。
- ②既存の届出については、随時、PRISMA声明(2020年)に準拠した研究レビューの変更届出を行うこととする。変更届出の際は別紙様式2(新様式・2020準拠版)を用いること。



(2) 1. 主な改正内容の(2)「届出内容の責任の所在の明確化(別紙様式2の変更)」及び1. 主な改正内容の(3)「その他の技術的事項」は経過期間を設けない。

# 丸七製茶株式会社 (J815)

# 株式会社 大井川電機製作所 (J415)

# 株式会社J-オイルミルズ (J661)

本品には茶カテキンが含まれます  
BMIが高めの方の  
**内臓脂肪と皮下脂肪を減らす**  
機能があることが報告されています。

創業一九〇七年  
本 品 位 質  
丸七製茶  
静岡茶  
一番搾り茶  
金

100g  
機能性表示食品  
抽出後茶カテキンが540mg含まれています。  
食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

機能性表示食品

食卓を味かせる幻のキノコ

**ホ**

ホホホタケ  
静岡県産はなびらたけ

大豆イソフラボン J

届出番号：●●●●●  
機能性関与成分：大豆イソフラボン  
届出表示：本品には大豆イソフラボンが含まれます。大豆イソフラボン是中老年女性の骨の成分を維持する働きによって、骨の健康に役立つことが報告されています。

●本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。

機能性表示食品

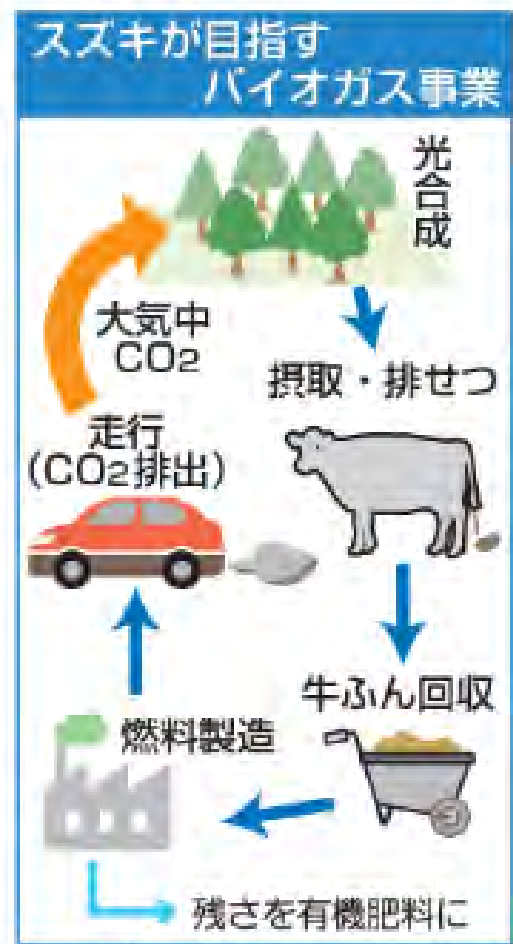
食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

# <牛ふんから自動車燃料 インドで本格化>

現地に約3億頭いるとされる  
牛のふんを活用した  
自動車燃料向けの  
バイオガス事業を本格化



2023年5月のイベントで参考展示されたインド市場向けCBG車



※スズキの資料を基に加工作成



車や二輪が走る道路沿いを移動する牛=2022年8月、グジャラート州

排泄物を有価物に変換  
→ 循環型社会の創生に貢献

# 合同会社富士山朝霧Biomassが実践する 地域資源の循環共生



富士山朝霧バイオマスプラント



固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギー発電事業の認定発電設備		
再生可能エネルギー 発電設備	区分	バイオマス発電設備(メタン発酵ガス発電機(バイオマス由来))
	名称	朝霧バイオマス発電所
	設備ID	MM24203C23
	所在地	静岡県富士宮市根原字宝山 115 番 1
再生可能エネルギー 発電事業者	発電出力	100kW
	氏名	富士山朝霧 Biomass
	住所	静岡県富士宮市根原字宝山 115 番 1
保守点検責任者	連絡先	0544-21-3533
	氏名	(株)土谷特殊農機具製作所 土谷賢一
	連絡先	
運転開始年月日		令和5年4月5日

**R5.4.5から発電開始**

**一般家庭  
200戸分の発電と  
444戸分のCO<sub>2</sub>削減を  
賄っております。**

電力は、 富士山エネルギー株式会社 **が、地域の皆様にお届けし**  
ます



# ○液肥(有機肥料)を用いた農作物および食品生産

- 液肥の製造  
(富士山朝霧Biomass)



- コメの生産  
(永田ファーム、永田)



- サツマイモ、落花生の生産 (アグリノ、西山)

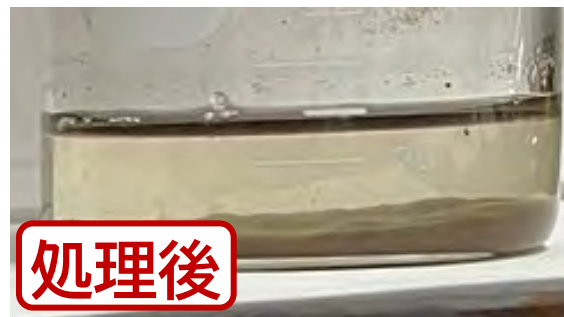
- 切り干し、サツマイモごはん等の生産

および学校給食への提供、道の駅での販売 (トウネツ 農園部)

- 液肥の脱色・脱臭・  
目詰まり除去  
(静岡県立大学、徳村)



処理前



処理後

オブザーバー:スズキ株式会社 事業企画部、富士市 上下水道部

## 調理例①：おむすび



## 調理例②：パエリア



## 調理例③：すし飯



液肥2 t



液肥1 t



液肥0 t



おむすび、パエリア、すし飯ともに3種の違いはほとんど判別できない。

## 写真

1 焼き干し芋



2 干し芋 (西山圃場)



3 干し芋 (トウネツ)



# 牛ふん液肥 実用化へ研究

## サツマイモ収穫効果検証

県立や富士宮市根原の合同会社「富士山朝霧 Biomassバイオマス」などは、乳牛のふん尿から生成した液肥の実用化に向けた研究を市内で進めている。液肥を使ってサツマイモを栽培し、20日には地元の小生らと収穫した。品質などを調べ、市販の化学肥料に迫る生育への効果が見込めるかを確かめる。担着者は循環型肥料による持続的な食料生産システムの確立を目指す。

富士宮 産官学民7者参加



牛ふん液肥で育てたサツマイモを収穫する児童ら＝富士宮市北山

研究は食から健康増進社会の実現を進める県の「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」の一環で、産官学民7者が参加している。有機肥料である液肥は県内随一の酪農地帯の朝霧高原で発生したふん尿を朝霧バイオマスが発酵させて生成する。サツマイモは同市北山などの遊休農地で育てている。

20日は、地元小学生らを招いて芋掘りを行った。大人の手よりも太いイモが土の中から姿を見せると、児童らは興奮気味に掘り進めた。イモは大きき別に分類して生育状態を調べた。今

後、成分評価を実施するほか、干しにも加工して味を確認する。一株あたりの生育具合も記録し、市販肥料で育てた畑と比較する。参加者には液肥の特徴についても紹介した。脱色・脱臭した液肥になるまでの工程を段階的に示し、ふん尿の臭いが薄まっていることを説明した。

同大大学院食品栄養環境科学研究院の徳村雅弘助教（工学）は牛ふん液肥に化学肥料と同等の効能が確認できれば、循環型肥料という社会貢献の面で優位性が高まると指摘。普及には「ふん尿で育てた食材という良のイメージや気持を生産者、消費者に感じさせない方が重要」と強調する。同大食品環境研究センターの若林敬一センター長（薬学）は「成功すれば、機能性食品開発が盛んな本県にとっても大きな一歩になる」と期待を寄せた。

（富士宮支局・国本啓志郎）

## 高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による 効率的エネルギー利活用技術実証研究



### 実証概要

コンパクトなメタン発酵槽、低動力のバイオガス精製装置および小規模の水素製造・供給装置を組み合わせた、下水汚泥からの効率的なエネルギー回収・利活用システムについて、処理性能、コスト縮減等を実証

- 実施者 : 神鋼環境ソリューション・日本下水道事業団・富士市共同研究体
- 採択年度 : 平成30年度(国土交通省 国土技術政策総合研究所からの委託研究として実施)
- 実証フィールド : 富士市東部浄化センター

## 静岡県が目指す バイオガス事業



センターでは機能性表示食品の開発とともに県立大学で研究中の機能性食品素材のDBを構築して、情報の発信を行っています。

## 機能性食品素材データベース

このページは、静岡県立大学および静岡県立大学と共同研究を実施している静岡県試験研究機関、静岡県内の企業等が、開発・製造する機能性食品素材を紹介するデータベースです。データの無断転用、引用、商用目的の利用は固く禁じます。下記の『「機能性食品素材」の情報』を正しく理解・利用して頂くために』をご了承のうえ、当データベースをご利用ください。

### 「機能性食品素材」の情報を正しく理解・利用して頂くために

- ・ここに示した情報は、機能性食品素材に関する現時点で得られている科学的根拠のある安全性・有効性の情報を集めたものであり、個々の素材・食品・商品の安全性や有効性を保証する情報ではありません。
- ・ここで紹介している素材が実際の商品に含まれていたとしても、その安全性や有効性等がここに紹介した情報と一致するわけではありません。公的機関の制度として、個々の商品について一定の安全性および有効性が評価された商品は、特定保健用食品だけです。
- ・ここに示した情報は、現時点で得られた学術論文の内容を反映してあります。よって、信頼できる学術論文に基づいた科学的根拠が新たに得られた場合は、情報が書き換えられることがあります。
- ・情報は、1年に複数回更新しますが、更新時期の関係等で、全てが最新の情報とは限りませんので、ご了承の上、ご利用ください。
- ・詳細情報の中には、試験管内実験、動物実験の情報があります。それらの情報は、ヒトにおける安全性・有効性にそのまま当てはまるものではありません。ヒトにおける安全性・有効性については、ヒトを対象とした研究情報が重要です。
- ・本データベース作成に引用した学術論文は、出典を明記し、可能な範囲でリンクさせてあります。
- ・健全な食生活のためには、主食、主菜、副菜を基本にバランス良くとることが重要です。
- ・医療機関を受診もしくは医師の指示による服薬を実施している方は、健康食品を摂取する際に医師へ相談することが大切です。また、健常な方であっても、健康食品を摂取して体調に異変を感じた時は、すぐに摂取を中止し、医療機関を受診し、最寄りの保健所等にもご相談ください。

了解しました

データベースを見る

# 食品の機能性素材（研究中）－2024年度新規に記載

資料2-16

素材名・化合物名	生理機能	企業名・機関名
アピゲニン	抗糖尿病作用	静岡県立大学 薬・石川、金子先生
アリルイソチオシアネート	認知機能（記憶）	静岡県立大学 食・三好先生
エノキダケ	テストステロン産生増加	静岡県立大学 食・三好先生
(-)-エピガロカテキンガレート	黄色ブドウ球菌の生体影響の制御	静岡県立大学 食・増田先生
コーヒーポリフェノール（クロロゲン酸類）	脳老化の抑制	静岡県立大学 食・海野先生
6-ショウガオール	心不全に対する抑制効果	静岡県立大学 薬・森本先生
テアニン	ストレス緩和	静岡県立大学 食・海野先生
デオキシリボ核酸(DNA)	ストレス	静岡県立大学 食・海野先生
テオフィリン	筋肉	静岡県立大学 食・三好先生
トウキンセンカの根	抗炎症	静岡県立大学 食・熊澤先生
トウキンセンカの葉	COMTに対する阻害効果	静岡県立大学 食・熊澤先生
ノビレチン	黄色ブドウ球菌の生体影響の制御	静岡県立大学 食・増田先生
ビーポーレン	COMTに対する阻害効果	静岡県立大学 食・熊澤先生
プロポリス	抗菌作用	静岡県立大学 食・熊澤先生
プロポリス	血管新生の抑制	静岡県立大学 食・熊澤先生
ミツバアケビ果皮	抗酸化	静岡県立大学 食・熊澤先生